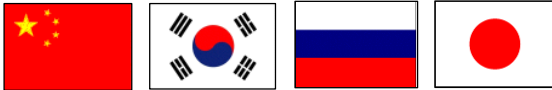




# 南高SSHだより

第12号  
H27.4.23  
新潟南高等学校  
SSH部発行

## 第4回 北東アジア環境・エネルギーシンポジウム



が開催されました。



### 参加校

コムソリスク・ナ・アムーレ市第45中学校(ロシア)  
ハバロフスク市環境・生物青少年教育センター(ロシア)  
ハルビン市第73中学(中国)  
ソウル市ソウル高等学校(韓国)  
山形県立米沢興譲館高等学校(日本)  
福島県立会津学鳳高等学校(日本)  
新潟県立新発田高等学校(日本)  
新潟県立長岡高等学校(日本)  
新潟県立柏崎高等学校(日本)  
新潟県立新潟南高等学校(日本)



### 日程

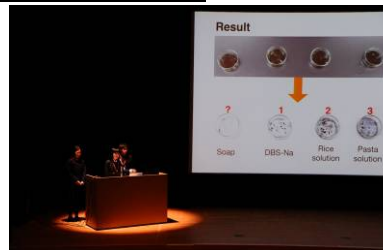
3月19日(木) **環境研修** 福島潟で施設見学・自然観察(希望者)  
**歓迎レセプション** 夜、新潟会館(海外生徒とホストファミリー)  
3月20日(金) **交流会**(午前) 海外の生徒が授業に参加。  
**リハーサル**(午後) 練習・準備  
3月21日(土) **北東アジア環境・エネルギーシンポジウム**



場所 新潟ユニソンプラザ

英語で行われました。

日程 9:30~ 受付  
10:00~10:15 開会式  
10:15~12:00 研究発表  
12:00~12:40 昼食  
12:40~13:40 ポスター発表  
13:40~14:40 基調講演  
「ネイチャーテクノロジーによる未来材料の創出」  
山内健先生(新潟大学工学部教授)  
14:50~15:50 パネルディスカッション  
テーマ「自然に学ぶ」 生徒による意見交換  
15:50~16:05 閉会式



**ホームステイ** 3月19日(木)夜~21日(土)朝(各ホストファミリー)

## 成果

- ・中国、韓国、ロシアの海外生徒、福島、山形の高校、県内の SSH 校と交流を深めることができました。
- ・新潟南高校の生徒も、がんばって英語で発表し、受け答えしました。
- ・環境研修では、悪天候にもかかわらず、福島潟の自然と水俣病を学ぶことができました。
- ・歓迎レセプションでは、海外高校生、引率、通訳、ホストファミリー、南高職員と楽しく過ごしました。
- ・交流会では、海外の方に新潟南高校の様子を見てもらい、書道と英語の授業に参加してもらいました。
- ・リハーサルでは、外部のアドバイザーの先生方から、熱心な指導を受けることができました。
- ・研究発表では、海外、県外の興味深い研究や発表の仕方の違いを知ることができました。
- ・ポスターセッションは、29 テーマもの発表があり、活発な質疑、交流ができました。
- ・基調講演は、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」について、実験を交えながら、分かりやすいものでした。
- ・パネルディスカッションでは、4 カ国 10 名の高校生が、テーマに沿って、活発に話し合いました。
- ・新潟大学の留学生によって、シリアやドイツの環境問題に対する取り組みなども紹介されました。
- ・ホームステイでは、海外の生徒と親しく交流しました。お別れの時は、感動的でした。
- ・短い期間でしたが、シンポジウムを中心とした、充実した交流事業を行うことができました。

## アンケートより

### 【来場者】

- ・異なる文化の人々と英語を用いて交流することができ、他の文化や国際的な視野を得られることができ、とても有益な体験になると感じた。科学的な意見交換を行うことができると、他の文化の科学的な意見を知る機会になると感じた。
- ・研究発表でも活発に質疑応答が行われていました。同世代同士で大変刺激になったと思います。司会進行も高校生によって英語で行われていたことがとても素晴らしいと思いました。
- ・海外の研究発表を聞くことができる貴重な機会だと思います。英語での発表だと、普段の英語の授業では学習しない単語も使用しつつ、研究の質も深めることができるため、生徒たちの今後の発展が期待できる事業だと思います。
- ・パネルディスカッションが活発なものになり、とてもよかったと思います。高校生の皆さんのそれぞれの発言に感心、感動しました。
- ・英語での発表、英語での Discussion と大変大きな機会を与えていただきまして、有難うございました。アジアの同世代の生徒とこのような機会を経験したことで、生徒達は大変刺激され、今後の学習意欲が高まると思います。ありがとうございました。
- ・子供の成長を認識し、先生方に感謝をしております。この子達は世界に羽ばたける可能性があると感じました。

### 【生徒】

- ・環境シンポジウムに参加したのははじめてでした。留学生と英語で話せるか心配でしたが、思っていたよりも話せてよかったです。つたない英語で話してはいたものの、韓国の文化や日本との違い、日本の特徴などをちゃんと話せて、とても楽しかったし、学ぶことが多かったです。しかし、やはり単語力や表現力が足りず、思うように伝えられなかったり、どう言ってもいいかわからず困ることもあって、自分の英語力の低さを改めて実感しました。外国からの留学生たちはとても流ちょうな英語で会話をしているし、プレゼンも堂々と発表していてすごいと思いました。何よりも、留学生たちの積極性に驚きました。日本の人々は多くの人前で発言したりするのを恥ずかしくてなかなか積極的にはしないというのに、慣れない異国においてでも積極的に発言し、行動する姿は、同じくらいの年だとは思えないくらい立派でした。見ならいたいです。外国の方々だけではなく、同じ日本の福島や山形の生徒さんたちからも多くの刺激を受けました。みんな積極的だし、英語も上手だし、すごいと思います。課題研究など、よきライバルにこれからなると思うので、来年に向けて頑張ろうと思います。
- ・ぼくはこのシンポジウムでパネルディスカッションに参加しました。そしてロシア人のホストファミリーもしました。ロシア人は中学生だったけれども、英語はペラペラで、日本語も少し話せて、本当に中学生なのかと驚きました。その子もパネルディスカッションでした。当日すごく緊張するだろうから、audience はじゃがいもだと思えと、山内ダーリーン先生がおっしゃってくれました。彼女のコメディックな会話で緊張がほぐれ、おもいっきりディスカッションできてよかったです。この occasion は私にとって一生の財産になりました。僕をパネルディスカッションに選出してくださった本間先生に感謝します。貴重な経験を与えてくださってありがとうございました。今回のシンポジウムは自分にとって非常に大きなものとなりました。本当にありがとうございました。